

## 平成26年度（美術科）授業改善推進プラン

	指導方法の課題	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	全体への説明から各自の必要とする内容を聞き取れない生徒がいる。	進み方別に、ポイントを説明して個々に理解できるように確認する。	次の作業を板書し、先の見通しが理解できるようにする。
2 年	アンケート集計の結果から ①わかりやすく板書・提示している。 ②生徒の発言や質問をしっかりと聞いている。 ③学習のルールを決め、守れるように徹底している。 の各項目が低かった。  〔とても思う 約70%〕 〔まあまあ思う 約30%〕	① 板書は、今日の予定や持ち物など板書している。また、作業する時間を確保するために説明する際にはできるだけ事前にプリントを準備することが多く、板書して説明する機会は少ない。ただし、その説明がわかりづらいのだと考える。今回の授業改善は作業の説明の際に、テレビ画面を通して手元の映像を映し出しながら作業の説明をする機会を多くしてみる。 ② 体指導のあとや机間指導の際に質問してくれる生徒についてはきちんと対応しているが、みんながいる前で質問できない生徒が多いと考える。制作ノートの様式を変更し、質問を記入する欄をつくり、毎回回収してチェックをする。 ③ 授業の初めに自分の目標を記入させているが、チェックをしていないので、多くの生徒が記入しないまま作業をしている。毎回回収するので、記入しているかどうかチェックをする。	第1美術室に暗幕をつけてもらった。以前はテレビを使った鑑賞授業などは多目的室で行ってきたが、第1美術室で行えるようになるため、鑑賞と表現活動を1時間の授業の中で出来るようになるので、授業形態を考えていく。
3 年	進み方の差が大きく、時間内に仕上がらない生徒がいる。	全体の流れを示し、先の見通しがつくようにする。	作業の早い生徒にはより丁寧な仕上がりになるよう指導する。

※1年 A・B・C・D・E組（週1時間）担当教員：宮本 A～E(隔週1時間) 担当教員：中坪

2年 A～F組（週1時間）担当教員：中坪

3年 A～F組（週1時間）担当教員：宮本